

**This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning  
Operations and is not part of the Official Record**

**BEST AVAILABLE IMAGES**

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

- BLACK BORDERS**
- IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES**
- FADED TEXT OR DRAWING**
- BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING**
- SKEWED/SLANTED IMAGES**
- COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS**
- GRAY SCALE DOCUMENTS**
- LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT**
- REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY**
- OTHER: \_\_\_\_\_**

**IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.**

As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.

[Previous Doc](#)   [Next Doc](#)   [Go to Doc#](#)  
[First Hit](#)

[Generate Collection](#)

L3: Entry 25 of 25

File: JPAB

Jun 6, 1997

B

PUB-NO: JP409149230A  
DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 09149230 A  
TITLE: PICTURE COMMUNICATION EQUIPMENT

PUBN-DATE: June 6, 1997

INVENTOR-INFORMATION:

NAME	COUNTRY
KANAZAWA, TOSHIYA	

ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME	COUNTRY
CANON INC	

APPL-NO: JP07301252

APPL-DATE: November 20, 1995

INT-CL (IPC): H04 N 1/32; H04 N 1/21

ABSTRACT:

PROBLEM TO BE SOLVED: To permit an operator to easily understand the content of picture data stored in a storage means by recording and outputting at least a part of picture data by means of communication for plural times by means of a communication means and management information on the picture data on one sheet of recording paper.

SOLUTION: A hard disk 11 is connected to a facsimile part 4 and it temporarily preserves received and compressed picture data. A file part 5 retrieves compressed picture data stored in a magneto-optical disk based on a keyword transferred through a core part 10, reads/expands retrieved and compressed picture data and transfers expanded picture data to the core part 10. When a cover page print key in a touch panel part is touched, a printer part 2 prints out layout through the core part 10. Thus, data is reduced and recorded at a reduction rate corresponding to the number of pages by which plural cover pages are recorded into one page by a selection result.

COPYRIGHT: (C)1997, JPO

[Previous Doc](#)   [Next Doc](#)   [Go to Doc#](#)

(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平9-149230

(43)公開日 平成9年(1997)6月6日

(51)Int.Cl.<sup>a</sup>  
H 04 N 1/32

識別記号 庁内整理番号

F I  
H 04 N 1/32

技術表示箇所  
Z  
J

1/21

1/21

審査請求 未請求 請求項の数3 OL (全10頁)

(21)出願番号 特願平7-301252

(71)出願人 000001007

キヤノン株式会社

東京都大田区下丸子3丁目30番2号

(22)出願日 平成7年(1995)11月20日

(72)発明者 金澤 俊也

東京都大田区下丸子3丁目30番2号キヤノン株式会社内

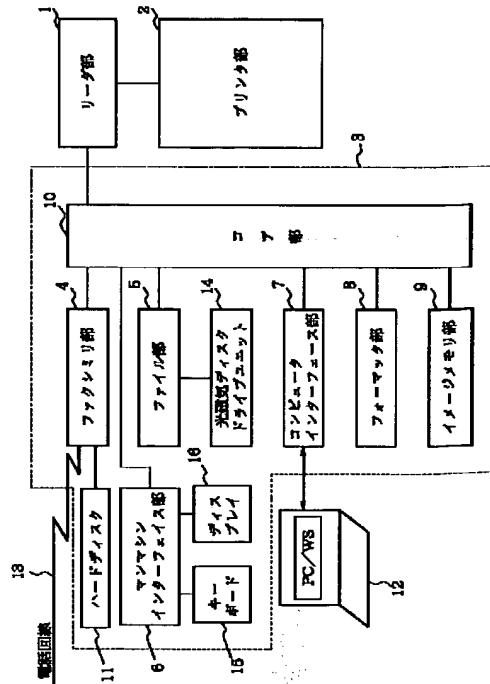
(74)代理人 弁理士 丸島 優一

(54)【発明の名称】 画像通信装置

(57)【要約】

【課題】 記憶手段に記憶されている画像データの内容をオペレータが容易に理解できる画像通信装置を提供する。

【解決手段】 電話回線13を介してメモリ送信するためにハードディスク11に記憶させた画像データ、または電話回線13を介して受信し、ハードディスク11に記憶させた画像データのうち、カバーページまたは1ページ目の画像データを縮小レイアウトしてその画像データの管理情報とともにプリンタ部2により可視出力する。



1

## 【特許請求の範囲】

【請求項1】 画像データを送受信する通信手段と、前記通信手段で送信する画像データまたは受信した画像データを記憶する記憶手段と、前記記憶手段に記憶されている画像データ及びその画像データに関する管理情報を記録出力する出力手段とを有し、前記出力手段は、前記通信手段による複数回の通信による画像データの少なくとも一部とその画像データに関する管理情報を1枚の記録紙に記録出力することを特徴とする画像通信装置。

【請求項2】 更に、通信エラーとなった画像データ及びその画像データに関する管理情報を前記出力手段により記録出力することを選択する選択手段を有し、前記出力手段は前記記憶手段から通信エラーとなった画像データを検索して、その画像データ及びその画像データに関する管理情報を記録出力することを特徴とする請求項1に記載の画像通信装置。

【請求項3】 更に、前記出力手段で出力する際のレイアウトを指示する指示手段を有し、前記出力手段は前記指示手段による指示に応じた縮小率で縮小した画像データ及びその画像データに関する管理情報を記録出力することを特徴とする請求項1または請求項2に記載の画像通信装置。

## 【発明の詳細な説明】

## 【0001】

【発明の属する技術分野】 本発明は画像データの送受信を行う画像通信装置に関するものである。

## 【0002】

【従来の技術】 従来より、この種の装置、例えばファクシミリ装置等において、画像データの通信に関する情報を通信管理レポートとしてリストにして出力するものが知られている。

## 【0003】

【発明が解決しようとする課題】 しかしながら、上述の従来技術のようにリストを出力しただけでは画像データの内容を理解するには不十分であるといった問題があった。また、メモリ内の画像データを確認するには上記リストを出力してから画像を選択して出力させるといった手間が必要であった。

【0004】 本発明は上述の問題点に鑑みてなされたもので、記憶手段に記憶されている画像データの内容をオペレータが容易に理解できる画像通信装置を提供することを目的とする。

## 【0005】

【課題を解決するための手段】 上記目的を達成するために本発明の画像通信装置は以下の構成を備える。

【0006】 即ち、画像データを送受信する通信手段と、前記通信手段で送信する画像データまたは受信した画像データを記憶する記憶手段と、前記記憶手段に記憶

2

されている画像データ及びその画像データに関する管理情報を記録出力する出力手段とを有し、前記出力手段は、前記通信手段による複数回の通信による画像データの少なくとも一部とその画像データに関する管理情報を1枚の記録紙に記録出力することを特徴とする。

## 【0007】

【発明の実施の形態】 以下、図面を参照して本発明の実施の形態の一例を詳細に説明する。

【0008】 図1は本発明の実施形態例の画像通信装置の構成を示すブロック図である。

【0009】 リーダ部1は原稿の画像を読み取り、原稿画像に応じた画像データをプリンタ部2及び画像入出力制御部3へ出力する。プリンタ部2はリーダ部1及び画像入出力制御部3からの画像データに応じた画像を記録紙上に記録する。画像入出力制御部3はリーダ部1に接続されており、ファクシミリ部4、ファイル部5、コンピュータインターフェイス部7、フォーマット部8、イメージメモリ部9、コア部10などからなる。

【0010】 ファクシミリ部4は電話回線を介して受信した圧縮画像データを伸長して、伸長された画像データをコア部10へ転送し、又、コア部10から転送された画像データを圧縮して、圧縮された圧縮画像データを電話回線を介して送信する。ファクシミリ部4にはハードディスク11が接続されており、受信した圧縮画像データを一時的に保存することができる。ファイル部5には光磁気ディスクドライブユニット14が接続されており、ファイル部5はコア部10から転送された画像データを圧縮し、その画像データを検索するためのキーワードとともに光磁気ディスクドライブユニット14にセットされた光磁気ディスクに記憶させる。又、ファイル部5はコア部10を介して転送されたキーワードに基づいて光磁気ディスクに記憶されている圧縮画像データを検索し、検索された圧縮画像データを読み出して伸長し、伸長された画像データをコア部10へ転送する。マンマシンインターフェイス部6はオペレータからの入力を受け付けコア部10へ伝えたり、装置の状態等をオペレータに伝える。マンマシンインターフェイス部6はキーボード15及びディスプレイ16を備えており、これらにより入力操作、情報の表示出力等を行うものである。コンピュータインターフェイス部7は、パーソナルコンピュータ又はワークステーション(PC/WS)12とコア部10の間のインターフェイスである。フォーマット部8はPC/WS12から転送された画像を表すコードデータをプリンタ部2で記録できる画像データに展開するものであり、イメージメモリ部9はPC/WS12から転送されたデータを一時的に記憶するものである。コア部10については後述するが、コア部10はリーダ部1、ファクシミリ部4、ファイル部5、コンピュータインターフェイス部7、フォーマット部8、イメージメモリ部9のそれぞれの間のデータの流れを制御するもので

ある。

【0011】図2はリーダ部1及びプリンタ部2の断面図である。リーダ部1の原稿給送装置101は原稿を最終頁(フェイスアップで置かれた原稿束の一番下)から順に1枚ずつアーテンガラス102上へ給送し、原稿の読み取り動作終了後、アーテンガラス102上の原稿を排出するものである。原稿がアーテンガラス102上に搬送されると、ランプ103を点灯し、そしてスキャナユニット104の移動を開始させて、原稿を露光走查する。この時の原稿からの反射光は、ミラー105、106、107、及びレンズ108によってCCDイメージセンサ(以下CCDという)109へ導かれる。このように、走査された原稿の画像はCCD109によって読み取られる。CCD109から出力される画像データは、所定の処理が施された後、プリンタ部2及び画像入出力制御部3のコア部10へ転送される。

【0012】プリンタ部2のレーザドライバ221はレーザ発光部201を駆動するものであり、リーダ部1から出力された画像データに応じたレーザ光をレーザ発光部201に発光させる。このレーザ光は感光ドラム202に照射され、感光ドラム202にはレーザ光に応じた潜像が形成される。この感光ドラム202の潜像の部分には現像器203によって現像剤が付着される。そして、レーザ光の照射開始と同期したタイミングで、カセット204及びカセット205のいずれかから記録紙を給紙して転写部206へ搬送し、感光ドラム202に付着された現像剤を記録紙に転写する。現像剤の乗った記録紙は定着部207に搬送され、定着部207の熱と圧力により現像剤は記録紙に定着される。定着部207を通過した記録紙は排出ローラ208によって排出され、ソータ220は排出された記録紙をそれぞれのピンに収納して記録紙の仕分けを行う。なお、ソータ220は仕分けが設定されていない場合は最上ピンに記録紙を収納する。また、両面記録が設定されている場合は、排出ローラ208のところまで記録紙を搬送した後、排出ローラ208の回転方向を逆転させ、フラッパ209によって再給紙搬送路へ導く。多重記録が設定されている場合は、記録紙を排出ローラ208まで搬送しないようにフラッパ209によって再給紙搬送路へ導く。再給紙搬送路へ導かれた記録紙は上述したタイミングで転写部206へ給紙される。

【0013】図3はリーダ部1のブロック図である。CCD109から出力された画像データはA/D・SH部110でアナログ/デジタル変換が行われるとともに、シェーディング補正が行われる。A/D・SH部110によって処理された画像データは画像処理部111を介してプリンタ部2へ転送されるとともに、インターフェイス部113を介して画像入出力制御部3のコア部10へ転送される。CPU114はマンマシンインターフェイス部6で設定された設定内容に応じて画像処理部11

1及びインターフェイス113を制御する。例えばマンマシンインターフェイス6でトリミング処理を行って複写を行う複写モードが設定されている場合は、画像処理部111でトリミング処理を行わせてプリンタ部2へ転送させる。また、マンマシンインターフェイス6でファクシミリ送信モードが設定されている場合は、インターフェイス113から画像データと設定されたモードに応じた制御コマンドをコア部10へ転送させる。このようなCPU114の制御プログラムはメモリ115に記憶されており、CPU114はメモリ115を参照しながら制御を行う。また、メモリ115はCPU114の作業領域としても使われる。

【0014】図4はコア部10のブロック図である。リーダ部1からの画像データはデータ処理部121へ転送されるとともに、リーダ部1からの制御コマンドはCPU123へ転送される。データ処理部121は画像の回転処理や変倍処理などの画像処理を行うものであり、リーダ部1からデータ処理部121へ転送された画像データは、リーダ部1から転送された制御コマンドに応じて、インターフェイス120を介してファクシミリ部4、ファイル部5、コンピュータインターフェイス部7へ転送される。また、コンピュータインターフェイス7を介して入力された画像を表すコードデータは、データ処理部121に転送された後フォーマット部8へ転送されて画像データに展開され、この画像データはデータ処理部121に転送された後、ファクシミリ部4やプリンタ部2へ転送される。ファクシミリ部4からの画像データは、データ処理部121へ転送された後、プリンタ部2やファイル部5、コンピュータインターフェイス部7へ転送される。また、ファイル部5からの画像データは、データ処理部121へ転送された後、プリンタ部2やファクシミリ部4、コンピュータインターフェイス部7へ転送される。CPU123はメモリ124に記憶されている制御プログラム、及びリーダ部1から転送された制御コマンドに従ってこのような制御を行う。また、メモリ124はCPU123の作業領域としても使われる。このように、コア部10を中心に、原稿画像の読み取り、画像のプリント、画像の送受信、画像の保存、コンピュータからのデータの入出力などの機能を複合させた処理を行うことが可能である。

【0015】図5はマンマシンインターフェイス部6の構成を示す図である。500は図1におけるディスプレイ16に該当するタッチパネル部である。タッチパネル部500は液晶表示により装置の状態等の各種情報をオペレータに通知したり、表示された部分をタッチすることにより所望の動作を行わせることができる。501～508は図1におけるキーボード15に該当する。501はコピー modeキーであり、コピー modeで処理を行うための画面にタッチパネル部500の表示を切り換える。同様に502はファクシミリ modeキー、503は

ファイリングモードキー、504はプリントモードキーであり、それぞれのモードでの処理を行うための画面にタッチパネル部500の表示を切り換える。505はサービスキーであり、各モード共通の各種設定やオプションの設定等を行うための画面にタッチパネル部500の表示を切り換える。506は復帰キーであり、設定内容やタッチパネル部500の表示を標準モード（デフォルト）に復帰させるためのキーである。507はスタートキーであり、原稿の読み取りの開始を指示するためのキーである。508はテンキーであり、コピー枚数やファクシミリ送信の際の電話番号を入力するための0～9までの数字キーと入力をクリアするクリアキーとからなる。509は電源スイッチであり、装置への電源供給のオン、オフを切り換える。

【0016】次に、ファクシミリ部4によるデータの送受信の処理について説明する。

【0017】まず、マンマシンインターフェイス部6より相手先の電話番号が入力され、この電話番号はファクシミリ部4内のメモリに設定される。そして、原稿画像がリーダ部1により読み取られ、この読み取った送信データはコア部10を介してファクシミリ部4に転送され、ファクシミリ部4内のメモリに一旦記憶される。次に、ITU-Tの勧告T.30に従った手順でファクシミリ送信が開始される。図6にITU-Tの勧告T.30の手順を示す。

【0018】発呼側が電話番号に基づきダイヤルし、被呼側との回線が接続されると図6の手順が開始される。

【0019】まずフェーズAでは被呼側がCEDを送出し、続いてフェーズBに移りNSF, CSI, DISを送出する。ここでNSFにおいて後述する機能をサポートしているか否かの情報を通知される。発呼側のファクシミリ部4のCPUは相手の能力をファクシミリ部4内のメモリに記憶しておく。

【0020】次に発呼側はNSS, TSI, DCSを送出する。ここでNSSにおいて送信データにカバーページを含むか否かの情報を通知する。図7にNSSのFIFの構成を示す。図10に示すように第1, 2オクテットにはITU-Tのメンバーコード、第3オクテットにはメーカーコードが設定される。第4オクテットはメーカーに開放されているエリアであり、カバーページがある場合は第4オクテットのビット0を“1”とし、ない場合は“0”としておく。カバーページの有無はマンマシンインターフェイス部6から入力する。

【0021】そして送信可であればトレーニングを行い、回線の状態をチェックする。まず14, 4Kbpsでトレーニングを行い、良好な状態であればフェーズCへ移行し、そうでなければボーレートを下げていく。そして相手先の電話番号及びその番号に対応した回線の状態をファクシミリ部4内のメモリに記憶しておく。

【0022】リーダ部1で読み取った送信データをファ

クシミリ部4内のメモリから読み出して電話回線13を介して相手先へ送信する。全ての送信データが送信されると手順はフェーズDへ移る。発呼側がEOPを送出し、終了を示すと被呼側はMCFを送出する。そしてフェーズEに移り、DCNを送出することにより回線を解放する。

【0023】被呼側（受信側）の装置は受信したデータをハードディスク11に保存しておく。

【0024】次に、受信側による受信文書の照会を行う場合の処理の流れを図11に示すフローチャートに基づき説明する。

【0025】まず、マンマシンインターフェイス部6のファクシミリモードキー502を押下すると図8(a)に示すようにタッチパネル部500の表示に切り換わる。ハードディスク11内に受信データが記憶されているとファクシミリモード時はタッチパネル部500に“メモリ受信”と表示される。この図8(a)に示す画面がファクシミリモードの基本画面である。図8(a)の画面でメモリ照会キーがタッチされると(S111)、タッチパネル部500の表示は図8(b)のように切り換わる。この図8(b)の縮小レイアウトを“する”と選択（“する”的にOKキーにタッチ）すると(S112)、図8(c)の画面に切り換わり、縮小レイアウトの種類（1ページに2件分、4件分、8件分、または9件分のカバーレターを記録する）を選択し、続いて図8(d)の画面に切り換わり、出力用紙のサイズを選択する(S113)。また、図8(b)の画面で受信文書リストキーにタッチしてからOKキーにタッチすると(S114)、図9(a)のような画面に切り換わり、ハードディスク11内の受信データの受信文書リストを表示する(S115)。ここでリストプリントキーにタッチすると図9(b)のようにリストプリントキーの部分が反転表示に切り換わり、受信文書リストをプリントアウトする。S116でカバーページプリントキーにタッチすると、図9(c)のようにカバーページプリントキーの部分が反転表示に切り換わり、図8(c)で選択したレイアウトでコア部10を介してプリント部2でプリントアウトする。つまり2in1が選択されていると(S117)、2件分受信データのカバーページを1枚の記録紙に記録し(S118)、4in1であれば4件分を1枚に、といった具合に選択結果により複数ページのカバーページを1枚に記録するページ数に応じた縮小率で縮小して記録する。この処理をS119でハードディスク11内の未出力の受信データがなくなったと判断するまで繰り返す。縮小レイアウトの出力形態を4in1の場合について図12に示す。図12は最初の4件分の受信データのカバーページを1枚の用紙に記録したものである。5件目以降は2枚目の用紙に記録出力される。出力用紙にはこの受信結果レポートをプリントアウトした日時、出力した装置の電話番号、登録

してあるユーザ略称、ページが記録される。そして受信データ毎の管理情報とレイアウトの種類に応じて縮小されたカバーページが記録される。なお、親展受信したものはカバーページを記録せずに親展である旨出力することにより機密性を保持する。

【0026】次に、送信側がメモリ送信を行った場合に発生した送信NGデータを照会する場合の処理の流れを図13に示すフローチャートに基づき説明する。

【0027】ここで、送信NGとはフェーズDでRTNを受け取った場合や、ビジーだった場合、相手装置の異常の場合等である。

【0028】図13において、S131～S133は図11のS111～S113と同様な処理を行う。そして、図8(b)の画面で送信文書リストキーにタッチしてからOKキーにタッチすると(S134)、図10(a)のような画面に切り換わり、ハードディスク11内の送信データの送信文書リストを表示する(S135)。ここでリストプリントキーにタッチすると図10(b)のようにリストプリントキーの部分が反転表示に切り換わり、送信文書リストをプリントアウトする。S136でNGプリントキーにタッチすると、図10(c)のようにNGプリントキーの部分が反転表示に切り換わり、ハードディスク11内の送信データのうちNGだったものを検索し、図8(c)で選択したレイアウトに従って前述と同様にしてプリントアウトする(S137～S139)。このときのフォーマットは図12とほぼ同様だが、更にエラーコードもしくはエラーメッセージが付加される。また、同報送信の場合は各宛先毎のデータが記録される。

【0029】以上の説明ではカバーページを出力するようになつたが、これに限らず受信データの1ページ目の画像を出力するようにしてもよい。また、送信データはPC/WS12で作成するものであつてもよい。

【0030】以上説明した様にハードディスク11に格納されている画像データのカバーページや画像データの一部を縮小レイアウトして管理情報とともに出力するので容易に画像データの内容が理解でき、また、出力用紙の枚数を節約することができる。また、これを見て不要なデータを削除したりすることによりハードディスクの容量を節約できる。また、内容の変更等も行い易くなる。

### 【0031】

【発明の効果】以上説明した様に本発明によれば記憶手段に記憶されている送信データまたは受信データの内容をオペレータが容易に理解できるようになる。しかも複

数回の通信による画像データの少なくとも一部とその画像データに関する管理情報を1枚の記録に出力するので一度に複数の情報が確認でき、また、出力用紙を節約することができる。

#### 【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の実施形態例の画像通信装置の概略構成を示すブロック図である。

【図2】リーダ部及びプリンタ部の断面図である。

【図3】リーダ部のブロック図である。

10 【図4】コア部のブロック図である。

【図5】マンマシンインターフェイス部の構成を示す図である。

【図6】ITU-T勧告T30に従ったファクシミリ制御手順を示す図である。

【図7】NSSのFIFの信号の構成を示す図である。

【図8】タッチパネル部の画面の切り換わりを示す図である。

【図9】タッチパネル部の画面の切り換わりを示す図である。

20 【図10】タッチパネル部の画面の切り換わりを示す図である。

【図11】受信文書リストを出力する際の処理の流れを示すフローチャートである。

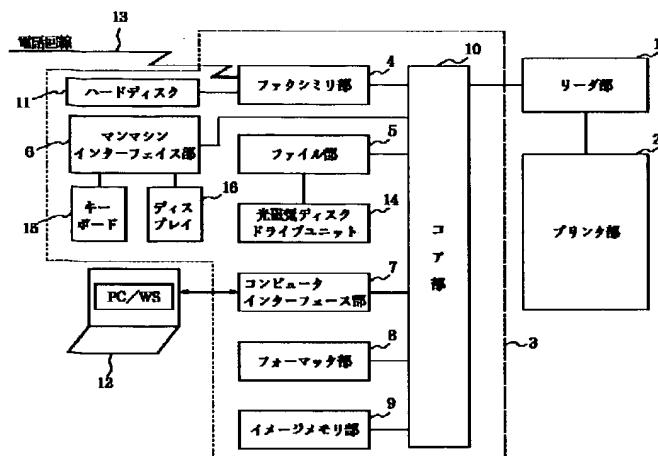
【図12】出力されるレポートのフォーマットを示す図である。

【図13】送信NGデータを出力する際の処理の流れを示すフローチャートである。

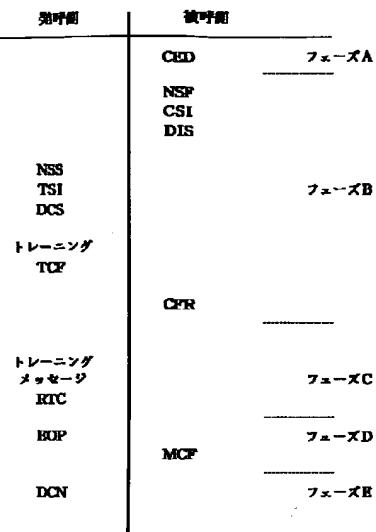
#### 【符号の説明】

- 1 リーダ部
- 2 プリンタ部
- 3 画像入出力制御部
- 4 ファクシミリ部
- 5 ファイル部
- 6 マンマシンインターフェイス部
- 7 コンピュータインターフェイス部
- 8 フォーマット部
- 9 イメージメモリ部
- 10 コア部
- 11 ハードディスク
- 12 PC/WS
- 13 電話回線
- 14 光磁気ディスクドライブユニット
- 15 キーボード
- 16 ディスプレイ

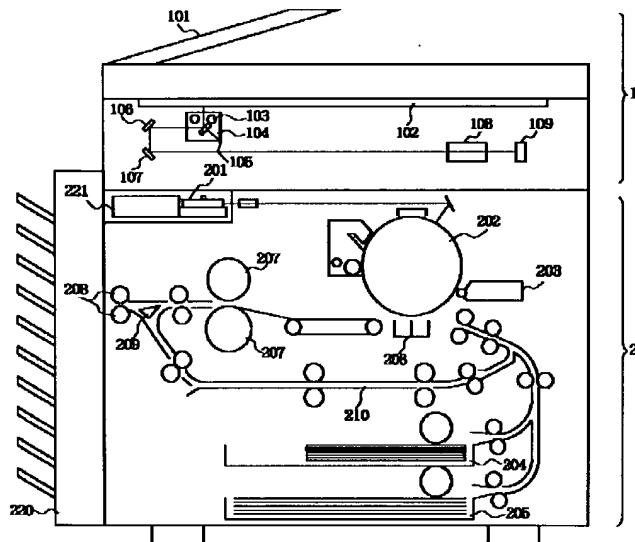
【図1】



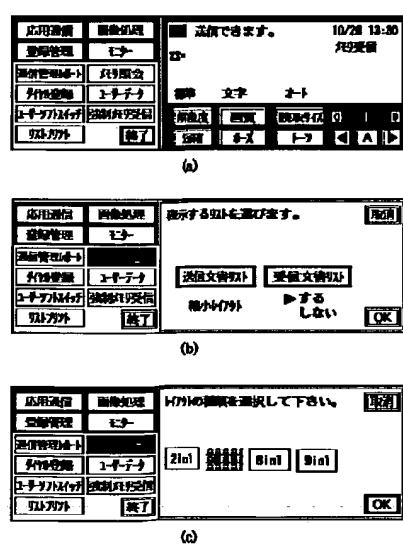
【図6】



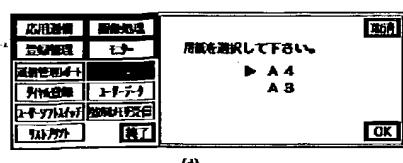
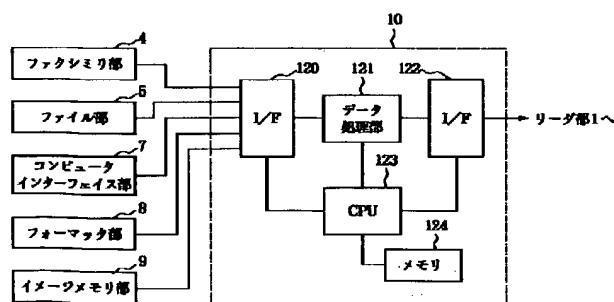
【図2】



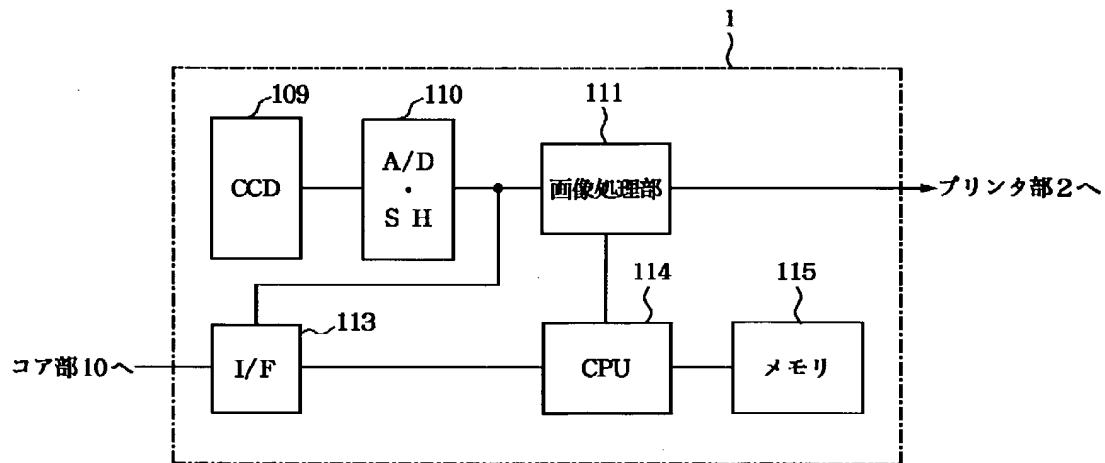
【図8】



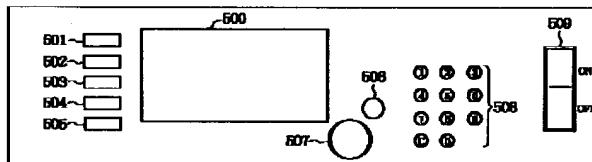
【図4】



【図3】



【図5】



【図9】

受付番号	被写生	受付時間	枚数	結果	操作
0013	OOma	10/26 09:32	1	OK	結果表示
0014	2345 8789	10/26 10:21	1	OK	実行
0015	1111 2233	10/26 11:41	2	OK	実行
0016	2222 3333	10/26 12:00	2	OK	実行

(a)

受付番号	被写生	受付時間	枚数	結果	操作
0013	OOma	10/26 09:32	1	OK	結果表示
0014	2345 8789	10/26 10:21	1	OK	実行
0015	1111 2233	10/26 11:41	2	OK	実行
0016	2222 3333	10/26 12:00	2	OK	実行

(b)

【図7】

ITU-Tメンバーコード						
ITU-Tメンバーコード						
メーカーコード						
カバーページ 左:1, 右:0						

受付番号	被写生	受付時間	枚数	結果	操作
0013	OOma	10/26 09:32	1	OK	結果表示
0014	2345 8789	10/26 10:21	1	OK	実行
0015	1111 2233	10/26 11:41	2	OK	実行
0016	2222 3333	10/26 12:00	2	OK	実行

(c)

【図10】

送付番号	相手先	受付時間	行	送付	結果	種別	通話ドリ
1236	1234 5678	10/26 09:05:23:30	12	OK	ダイヤル音		
1236	△△株式会社	10/26 11:22:55:00	1		ダイヤル音		
1236	同様 8件	10/26 12:10:—	—		同様音		
1236	△△△△△△△△	10/26 13:15:00:00	2		ダイヤル音		

(a)

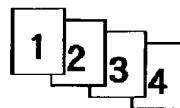
送付番号	相手先	受付時間	行	送付	結果	種別	通話ドリ
1236	1234 5678	10/26 09:05:23:30	12	OK	ダイヤル音		
1236	△△△△△△△△	10/26 11:22:55:00	1		ダイヤル音		
1236	同様 8件	10/26 12:10:—	—		同様音		
1236	△△△△△△△△	10/26 13:15:00:00	2		ダイヤル音		

(b)

送付番号	相手先	受付時間	行	送付	結果	種別	通話ドリ
1236	1234 5678	10/26 09:05:23:30	12	OK	ダイヤル音		
1236	△△△△△△△△	10/26 11:22:55:00	1		ダイヤル音		
1236	同様 8件	10/26 12:10:—	—		同様音		
1236	△△△△△△△△	10/26 13:15:00:00	2		ダイヤル音		

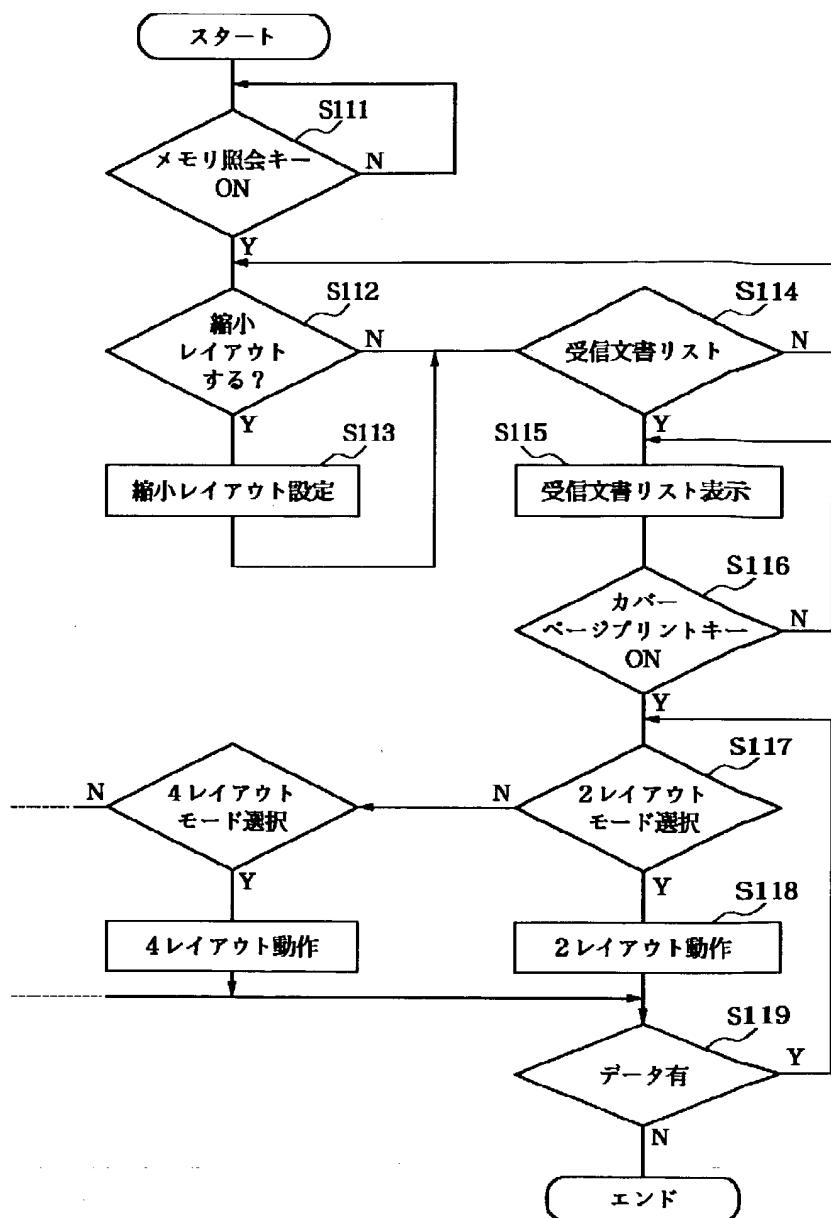
(c)

【図12】



'95 10/26 13:35		△△株式会社	P.01
-受信結果レポート-			
受付番号	0012	0013	
相手先電話番号	1234 5678	9876 5432	
相手会社名	△△株式会社	△△株式会社	
開始時間	10/26 09:30	10/26 09:32	
通信時間	00' 58	00' 25	
枚数	2	1	
通信結果	OK	OK	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">1</div>		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">親 展</div>	
受付番号	0014	0015	
相手先電話番号	2345 6789	1111 2233	
相手会社名	△△△△△△△△	△△△△△△△△	
開始時間	10/26 10:21	10/26 11:41	
通信時間	00' 30	00' 55	
枚数	1	2	
通信結果	OK	OK	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">3</div>		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">4</div>	

【図11】



【図13】

